

科目名	国際公益論
担当者	福田耕治
配当学期	2011 春学期
単位	2 単位
授業概要	国際公益の実現をはかるためには、現代行政の活動は、もはや「国民国家」の枠内にとどまらない。現代国家の行政活動が、なぜ、さまざまな領域で国際化、グローバル化を余儀なくされ、国際機構行政を発達させ、自治体や NGO や企業、個人との協力関係をも強化していかざるを得なくなったのか、国際行政と国内行政の制度的諸関係はどのように発展してきたのか。本年度は、EU を事例として、国際公益実現のために、国際的調整をめぐる諸問題の論点は何か、またガバナンスの視点についても考える。
授業の到達目標	国際公益の概念を把握し、国際機関、国と地方自治体の役割を考え、その実現方法をガバナンスの観点から理解する。
授業計画	<p>[第 1 回] ガイダンスー国際行政と国際公益とは何か。</p> <p>[第 2 回] 国際行政と加盟国行政の関係、第 1 次資料、公式資料の使い方</p> <p>[第 3 回] 欧州ガバナンスの構造と EU 諸機関</p> <p>[第 4 回] EU 法秩序・リスボン条約の構造と機能</p> <p>[第 5 回] 欧州理事会と EU 閣僚理事会</p> <p>[第 6 回] 欧州委員会の機能と構造、</p> <p>[第 7 回] 欧州議会の機能と構造、国際政党、直接選挙の現状分析</p> <p>[第 8 回] 欧州委員会事務局の構造と改革、国際公務員人事行政</p> <p>[第 9 回] [第 10 回] EU 政策過程の構造と利益集団、NGO の機能</p> <p>[第 11 回] EU 政策形成・決定過程と共同体方式ガバナンス</p> <p>[第 12 回] EU 政策実施過程と加盟国行政機関</p> <p>[第 13 回] EU の政策評価制度と NPM 改革、欧州ガバナンスの課題</p>
教科書	<p>福田耕治編著『EU/欧州公共圏の形成と国際協力』成文堂、2010 年。</p> <p>福田耕治編著『EU・欧州統合研究』成文堂、2009 年。</p>
参考文献	福田耕治『国際行政学ー国際公益と国際公共政策』有斐閣

成績評価方法	評価基準	
試験 %	0%	
レポート %	40% 春学期の終了時に提出すること。	
平常点評価 %	60% 授業時の報告と討議を重視し、評価する。	
その他 %		
関連 URL	URL <a href="http://jpn.cec.eu.int">http://jpn.cec.eu.int</a> <a href="http://europa.eu.int/">http://europa.eu.int/</a>	
備考	EUIJ 早稲田の HP 参照	